

県議会議員

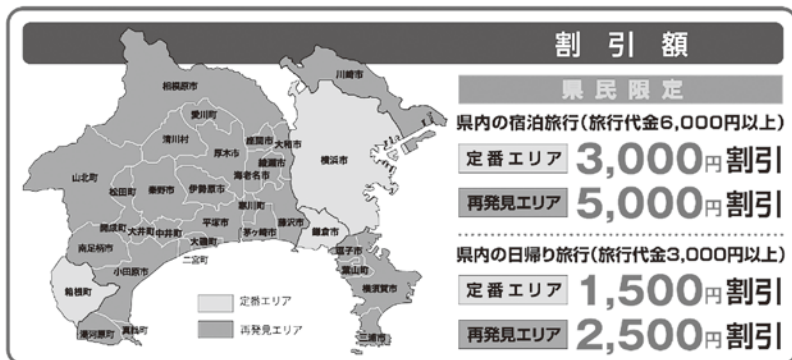
# あらい、絹世の「磯っ子」レポート

夢と希望のある神奈川を



<http://www.araikinuyo.jp>

## 12月1日に再開、期間は来年1月31日まで 県内旅行の代金割り引く「かながわ県民割」



新型コロナウイルス感染拡大の沈静化を受け、政府は先ごろ感染の抑止と経済活動の両立に向けた新たな経済対策を決定しましたが、神奈川県でも感染症で深刻な影響を受けた観光事業を支援し、神奈川の魅力を再発見する契機としてもらうため、県民が県内への旅行をした場合に旅行代金を割り引く「かながわ県民割」を再開することにしました。期間は12月1日から来年1月

31日まで(宿泊の場合は2月1日のチェックアウト分まで対象)となっています。

「かながわ県民割」施策は、国からの交付金をベースに昨年度の2度の補正予算で約20億円の財源を確保。昨年10月にスタートしました。期間は当初、2021年2月末までを予定していましたが、政府がコロナ感染症への緊急事態宣言を行ったことから急ぎよ12月28日で打ち切りとなりました。

今回は使用されなかった約15億円を財源に12月から来年1月まで行われますが、予算がなくなり次第終了され、国の「Go To トラベル」との併用は不可となっています。県民が事業の登録事業者である旅行会社や宿泊業者、船舶事業者などから旅行商品を購入する際、割り引きが適用されます。今回は割り引きが定番エリアで1人1泊6000円以上を利用した場合3000円、再発見エリアでは5000円、日帰り旅行で3000円以上の利用の場合定番エリアで1500円、再発見エリアで2500円となっています。1回に何人分でも、何度でも利用できる仕組みになっています。今回は割り引き率が定番エリアでより低くなっていますが、前回実施の際、利用が人気のある定番エリアに偏っていたことを踏まえて改善したといえます。

県内に本社や支店、営業所のある旅行会社、ホテル・旅館、船舶事業者などで登録業者へ申請があったのは546社で、前回より増えています。同県民割への問い合わせ先は☎045-277-0773の事務局となっています。

**コレが言いたい!**

昨年10月にスタートした県民割は、緊急事態宣言が発出された事により12月に打ち切られましたが、累計約10万人、約5億円分の利用がありました。県内在住者が人気のある定番エリア(横浜・鎌倉・箱根)を旅行し宿泊した場合(1人当たり1泊)最大5000円、再発見エリア(それ以外のエリア)7500円、日帰り旅行では、定番エリアで最大3000円、再発見エリアで最大2000円、Go To トラベルと併用できましたが、高級旅館への宿泊が多く、低価格の旅館への利用が少なかったことから県内全てのエリアで宿泊客が増えるよう、今回は制度設計を見直しました。

今月のひと言

12月10日から16日は、「北朝鮮人権侵害問題啓発週間」です。県では、令和3年12月12日(日)に横浜駅東口そごう地下2階広場前「新都市プラザ」でパネル展示等を実施します。(12時30分から16時00分)また、「北朝鮮に拉致された日本人を救う神奈川県議会有志の会」では同日の14時から16時に、桜木町駅前広場にて署名活動を行います。

# 磯子あれ? これ?

## 田中神社 (磯子区田中)

神社の創建については記録が残っていないため不明ですが、かつては「御嶽社」と呼ばれていて、お犬様を眷属(神仏の使者)とする社でした。

武蔵新編風土紀稿によると、磯子区には6社の御嶽社がありましたが明治41(1908)年に各村の無格社(社格の無い神社)を整理して一社にまとめるような規則ができ、田中村では御嶽社と明神社を隣の栗木神社へと移しました。

氏神様が隣村に移ったことで初詣や例祭、お宮参りなどのときもわざわざ隣村まで出掛けて行きました。後に例祭については栗木神社でおこない、その後御嶽様の日に陰祭りをおこないました。

戦後になって、氏神様を元の場所に戻そうという意見が村々で発せられて昭和22(1947)年に、御嶽社と明神社を旧社地に祀り仮殿を建てました。社名は、二社を合わせたので新しく付けることになり、村名をとって「田中神社」と名付けました。

昭和46年12月に新社殿が焼失してしまいましたが、氏子の寄附等によって昭和47年9月に再建されました。

参考:磯子の史話

### 活動報告

自民党神奈川県議会議員団で、黒岩知事に対して「令和4年度予算・施策に関する提言書」を提出しました。令和4年度は、現段階で概ね850億円の財源不足が見込まれています。また、財政調整基金について、新型コロナウイルス感染症に対応するための取崩しを続けた結果、残高が大幅に減少していることに加え、今後の感染状況などによっては、県税収入の下振れや追加の財政需要が見込まれることから、本県財政は、引き続き危機的な状況にあるとされています。事業の取捨選択を行い、県民の安全安心をしっかりと守って参ります。



### あらい絹世 プロフィール

- 昭和43年3月8日 横浜市磯子区生まれ
- 横浜雙葉小・中・高等学校卒業
- 明治学院大学社会学部社会福祉学科卒業
- 日商岩井(株)/株メタルワン
- 自民党かながわ政治大学12期生

- 平成31年4月 県議会議員3期目当選
- 産業労働常任委員会委員
- 安全安心特別委員会委員
- 自民党県議団政務調査会筆頭副会長
- かながわ自民党女性議員局長

